

2024年度 実習評価

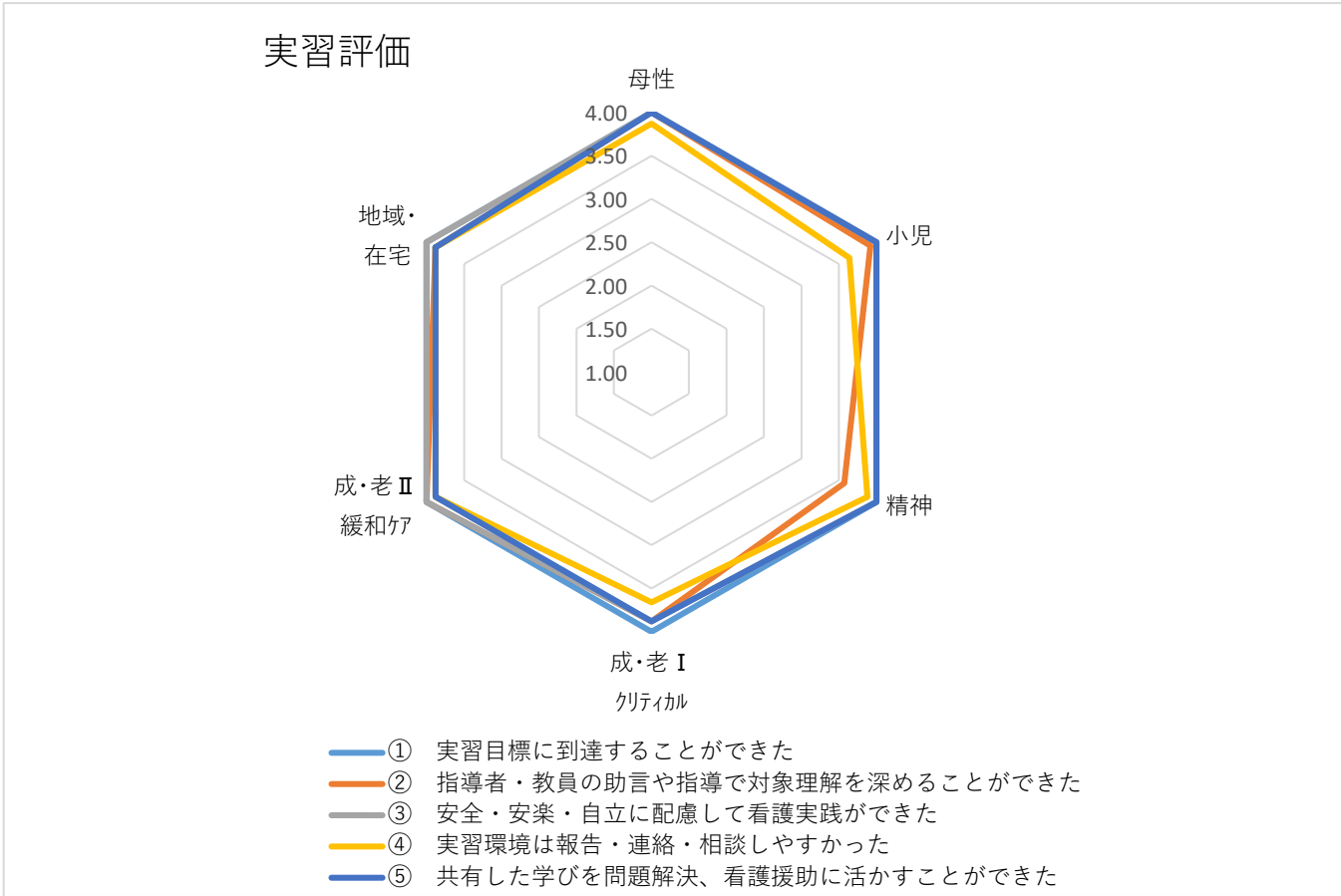
2024年度 領域実習（3年生）36名を対象に実習評価のアンケート調査を実施した。
実習環境・実習指導の質の向上を目的として質問5項目について評価尺度の平均値を算出し評価点とした。
その結果を表1・図1に示す。

<表 1> 実習評価

評価尺度（4. 大いにそう思う、3. そう思う、2. あまり思わない、1. 全く思わない）

アンケート内容	母性	小児	精神	成・老Ⅰ クリティカル	成・老Ⅱ 緩和ケア	地域・在宅	平均
① 実習目標に到達することができた	4.00	4.00	4.00	4.00	4.00	4.00	4.00
② 指導者・教員の助言や指導で対象理解を深めることができた	4.00	3.92	3.57	3.88	4.00	3.88	3.88
③ 安全・安楽・自立に配慮して看護実践ができた	4.00	4.00	4.00	3.88	4.00	4.00	3.98
④ 実習環境は報告・連絡・相談しやすかった	3.87	3.64	3.88	3.66	3.88	3.88	3.80
⑤ 共有した学びを問題解決、看護援助に活かすことができた	4.00	4.00	4.00	3.88	3.88	3.88	3.94
平均	3.97	3.91	3.89	3.86	3.95	3.93	3.92

<図 1> 実習評価



【実習評価アンケートの結果と今後の課題】

全ての領域において、4点満点中3.89～3.97と高い評価を得た。特に①「実習目標に到達することができた」は、平均4.00と非常に高い評価を得た。

実習環境として、看護展開の速い領域（小児・クリティカル）は、④「実習環境は報告・連絡・相談がしやすかった」の評価が低い傾向にあった。

今後も実習状況を把握し、指導者と連携をとりながら更に実習環境を整えていきたい。